

小絹中学校グランドデザイン

茨城県教育目標

ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
 じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

いばらき教育プラン(基本理念)

活力があり、県民が日本一幸せな県

つくばみらい市学校教育目標

- 個性と創造性に富み、確かな学力を身につけた“みらい”の子を育てる
 - グローバルな視野をもち、郷土愛に満ちた“みらい”の子を育てる
 - 心身ともに健康で、自他を大切にできる“みらい”の子を育てる
- 目指す児童生徒像**
- ・学びの連続性の中で、自ら進んで学習に取り組む児童生徒
 - ・心豊かに個性を発揮し、他者と協働的に活動する児童生徒

学校教育目標(長期目標)

すぐれた品性と豊かな知性のある、心身ともにたくましい生徒を育成する

校訓 進んで学び 働き 鍛えよう

目指す学校像

「創意と活力に満ちた、
文化の薫り高い学校」

目指す生徒像

「自ら問題を解決し、
自分で道を切り拓いていく生徒」

目指す教師像

「生徒が好きで教育愛があり、
研修する教師」

学校経営方針

<中期目標> 自ら学び、自ら考え、自ら行動できる生徒を育成する

<組織目標> 周りとの関わりをとおして、生徒の自己有用感を高める

<経営方針> ○チーム小絹で、生徒も教師も成長する(自己実現)

～夢に向かって「挑戦 努力 感謝」～

・夢に向かって挑戦する強い気持ちを持ち、成長し続ける生活を送ること。

・夢を実現するために、明確な目標を定め努力し続けること。

・夢に向かって努力する過程を大切にするとともに、周りに感謝して生活すること。

ウェルビーイングな学校

夢に向かって

挑戦 努力 感謝

<確かな学力の向上>

重点目標: 知りたい!をつなげる

具体的な取組

○主体的・対話的で深い学びの実現

- ・協働的な学習の工夫改善
- ・探究的な学びの充実(まとめとふりかえり)

○論理的思考の育成

- ・学習した知識・技能の活用
- ・自分と他者との考えの共通点や相違点を捉え、考えを深めていく活動の工夫

○個に応じた多様な指導方法の工夫

- ・デジタルドリル、紙媒体ワーク等の適切な活用
- ・「家庭学習の手引き」を活用した主体的な学びの推進

数値目標(学校評価アンケート)

- 学ぶ中で、もっと知りたいと思うことがある 70%
- 家庭学習に主体的に取り組んでいる70%

<豊かな心の育成>

重点目標: 自己有用感の向上

具体的な取組

○生徒の居場所づくり

- ・生徒指導実践上の4つ視点を踏まえた授業づくり、集団づくり

・生徒の主体の活動の充実

・教育相談体制の充実

・校内フリースクールを活用した居場所づくり

○規範意識の向上

・学校、家庭における情報モラル教育の推進

・道徳教育の充実

(情報モラル、多様な価値観の人々と協働して問題解決する意欲を育む現代的な課題)

数値目標(学校評価アンケート)

- 学校生活が充実している 85%
- 生徒の悩みに手助けしている 90%

<健やかな体の育成>

重点目標: 健康・安全への意識向上

具体的な取組

○自己管理能力の向上

- ・外部講師を招いた保健教育の実施(飲酒・喫煙・薬物乱用防止教室、性に関する講演会、がん教育など)

・「食に関する指導」の実施

・危機予測・回避能力育成のための指導の実施

(交通安全教室、不審者を想定した訓練、防災教育)

○主体的な運動の推進による体力の向上

・学習カードの活用やグループ活動の実施

・生徒の主体的な参加による部活動の運営

数値目標(学校評価アンケート)

- 健康や安全を意識した生活をしている 80%
- 運動に意欲的に取り組んでいる 75%

<時代の変化に対応できる教育の推進>

重点目標: 自分をスキルアップさせる力の向上

具体的な取組

○体験活動・キャリア教育の充実

- ・「キャリア・パスポート」を活用したキャリア教育の計画的・系統的な実践

○ICT活用の推進

- ・学習場面に応じたICT活用の推進
- ・情報活用能力の育成

数値目標(学校評価アンケート)

- 夢や目標をもって生活している 70%
- 親子で将来のことを話している 60%
- 学習に効果的のあるICT活用している80%

<教育支援の拡充>

重点目標: 自分で課題を解決できる力の向上

具体的な取組

○一人一人に応じた適切な指導や必要な支援の充実

- ・通常の学級における指導・支援の充実(多様性を尊重した学級経営、合理的配慮提供)

・「個別の指導計画」に基づく指導・支援の充実

・特別支援教育に関する研修の実施

・適切な学びの場の決定や見直しの実施

(校内教育支援委員会の実施)

・伊奈特別支援学校との連携

数値目標(学校評価アンケート)

- 授業が分かった・できた実感している 90%
- 能力に合わせた活動を留意している 85%

<開かれた学校作りと家庭・地域との連携>

重点目標: 社会に開かれた安全・安心な学校づくり

具体的な取組

○地域人材や保護者の教育活動への参加

- ・コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の推進

・各種たよりの定期的な発行やホームページによる

積極的情報発信

・学校評価による教育活動の改善

・小絹小学校との一貫教育の推進

数値目標(学校評価アンケート)

- 学校からの情報が伝わっている 95%
- 家庭・地域と連携して教育活動をしている 60%

<教職員の資質・能力の向上>

重点目標: キャリアステージに応じて求められる資質能力の向上

具体的な取組

○「研修シート」を活用した研修への主体的な参加

- ・外部での研修の奨励(研修センター希望講座、オンライン研修等)
- ・相互授業参観の計画的な実施と振り返りの工夫

数値目標(教員評価の自己申告書)

- 校内研修等により、資質や能力を高めることができた。 90%

<働きがいの向上を踏まえた働き方改革の推進>

重点目標: 教職員のパフォーマンス向上

具体的な取組

○校務支援システムの活用による校務DXの推進

○心理的安全性を確保した職場づくり

数値目標(教員評価の自己申告書、ストレスチェック)

- 在校等時間の昨年度比 -3%
- ストレスチェック「問題なし」の教職員 80%